

第21回MSセミナー
令和2年10月5日
WEB講演会



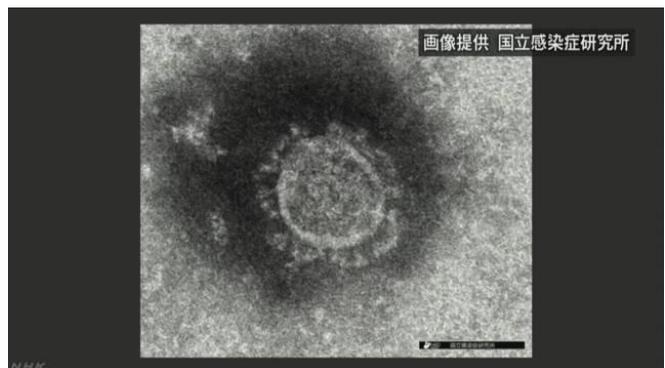
COVID-19を含む、地域感染対策における KRICTの役割と今後



NPO-KRICT理事長
産業医科大学名誉教授
北九州市保健福祉局医務監
松本哲朗

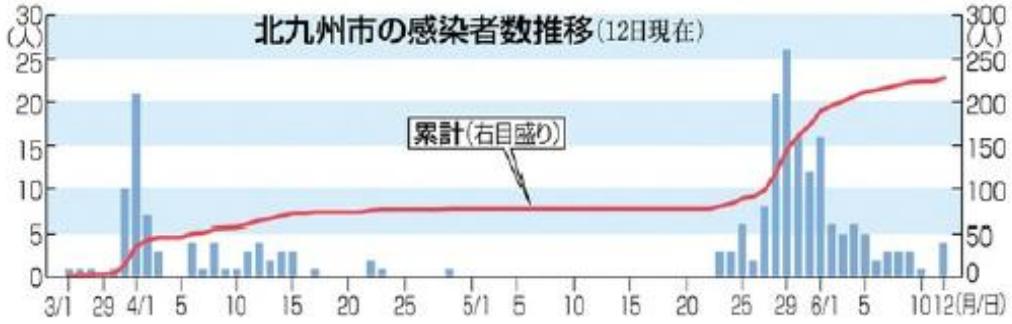
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

しばしば起こる新興感染症：感染症との戦いは、永久に続く



SARS-CoV-2

北九州での新規感染者



過去の感染

第1波

病院でのクラスター

第2波

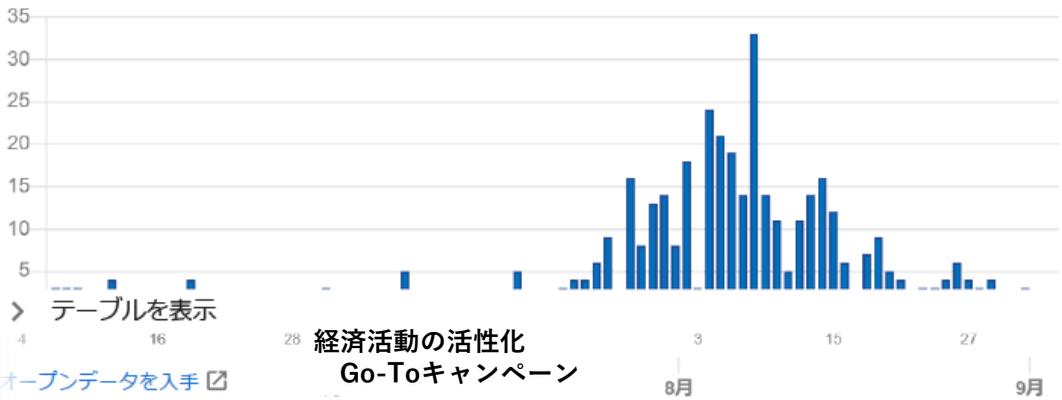
病院・介護施設・学校でクラスター

北九州だけなぜ？

23日間感染なし→安心感
緊急事態宣言解除とゴールデンウィーク

2020/9/19

市内の最新感染動向 | 北九州市 新型コロナウイルス感染症情報サイト



> テーブルを表示

オープンデータを入手

2020/09/19 13:11 更新

経済活動の活性化
Go-Toキャンペーン

第3波

介護施設・昼カラオケでクラスター

新型コロナウイルスを防ぐには

新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれています。新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつるといわれています。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特に高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性があります。

日常生活で気をつけること

感染症対策の基本は、「手洗い」や「咳エチケット」です。持病がある方、高齢の方は、できるだけ人混みの多い場所を避けてください。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。
発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

こんな方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください

次の症状がある方は

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
※高齢者や糖尿病、心不全等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

センターで相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。



「新型コロナウイルス感染症」についてのご相談は…

【帰国者・接触者相談センター（新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル）】
093-522-8745（24時間受付）

聴覚障害のある方はFAXで相談ください。
FAX：093-522-8775

※夜間や土日祝日に受けたご相談は返信が遅れる場合がございます。

※記載内容については、最新情報により変更されることがあります。

北九州市保健福祉局保健衛生課

令和2年2月18日改訂版

感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

①流水でよく手をぬがした後、石鹸をつけ、手のひらもよくこすりまわす。
②手の甲のほうをこすりまわす。
③指先、指の間をこすりまわす。
④指の間を洗います。
⑤親指と手のひらをこすり洗いします。
⑥手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでうつらう

① 何もしずに咳やくしゃみをする
② 咳やくしゃみを手でかさねる
③ マスクを着用する（口、鼻を覆う）
④ ティッシュ/ハンカチで口、鼻を覆う
⑤ 袖で口、鼻を覆う

正しいマスクの着用

① 鼻と口の両方を確実に覆う
② こまめに手を洗う
③ 顔が露出しないよう鼻まで覆う

首相官邸 厚生労働省

北九州市保健福祉局保健衛生課

あなたとあなたの大切な人を守る

5つの行動目標

新型コロナウイルス感染症は、再び感染が拡大する恐れがあります。ウイルスとの長丁場の戦いに備えるため、今後も一丸となって感染拡大予防のための取り組みを進めていく必要があります。この5つの行動目標は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、みなさんのいのちと、大切な人のいのちを守ります。

- 1 外出するときはマスクの着用
- 2 人との距離をしっかりと確保（できれば2メートル）
- 3 こまめに手洗い
- 4 発症した時のために、自分の行動をしっかりと記録
- 5 発熱等があるときは、事前に電話をしてから病院に行く

北九州市

中でも重要なことは、手洗いとマスク

手洗い

- ・流水による手洗い
- ・石鹸と流水による手洗い
- ・アルコール製剤による手指消毒

マスク

- ・人としゃべる時はマスク
- ・マウスシールドやフェイスシールドは効果がない
- ・マスクの表面は触らない
- ・一人の時や人との距離がある時は不要
- ・咳エチケット

本市におけるCOVID-19感染症に対する医療体制

1. 帰国者・接触者相談センター：保健所内に設置
2. 帰国者・接触者外来：市内の感染症指定病院および協力病院（18病院）の内5施設に設置
（帰国者・接触者相談センターにて振り分け、検査などを行う）
3. 入院可能施設：市内の感染症指定病院および協力病院
状況に応じて、保健所等と相談の上、重症度や基礎疾患等により振り分ける



さらに広い範囲（診療所も含む）で診療する体制へ

北九州市での主なクラスター

	感染者数
新小文字病院	20人
北九州総合病院	27人
門司メディカルセンター	11人
産業医科大病院	10人
新王子病院	6人
特別養護老人ホームわかば	12人
守恒小	6人
介護老人ホームさわやか蛍風館	34人
昼カラオケ店	9人

（新聞報道より）「

多数のクラスター発生

クラスターの発生防止が最重要課題

クラスター発生防止策

1. クラスター発生の早期把握：施設の仕事
2. 積極的な疫学調査：保健所の仕事
3. 感染拡大防止策の実施：KRICTの仕事



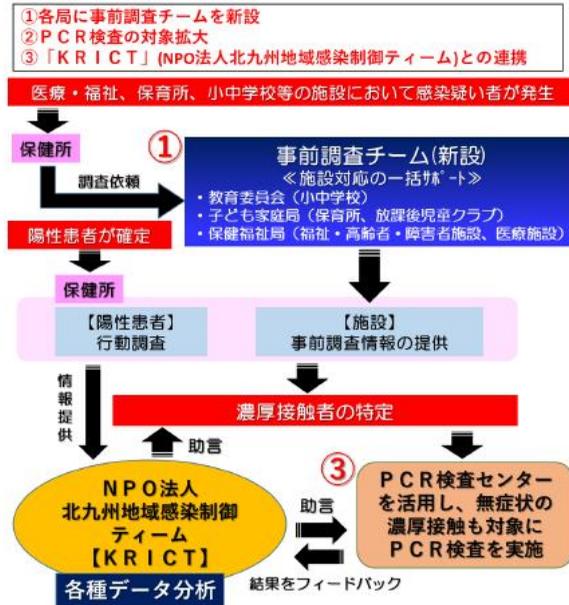
クラスター対策の体制強化！
～クラスター連鎖を防ぎ、市民の不安連鎖を解消せよ！～



1. 背景・目的

- 市民の皆様や事業者の方々のご理解・ご協力、最前線の現場で働いておられる医療機関や福祉施設等の関係者の一方ならぬご努力・ご尽力により、今のところ本市での爆発的な感染拡大までは抑止されています。
- このような状況下において、本市が今まさに集中して取り組むべきこと、それは、**クラスター(患者集団)対策**です。
- 感染拡大を最小限に抑え、事態を収束させる、あるいは感染拡大を遅らせるためには、いかに早く、クラスター発生を発見し、濃厚接触者の適切なりストップなど、早期かつ具体に対策を講ずることができるかが必要となります。
- そこで、本市のクラスター対策に係る体制を強化し、**『クラスター連鎖を防ぎ、市民の不安連鎖を解消する』**というミッションに全力で取り組みます！

2. 取組



① 各局に事前調査チームを新設

市民生活に大きな影響を及ぼす可能性が高い施設において感染疑い者が確認された際には、施設を所管する各局（教育委員会、子ども家庭局、保健福祉局）に新設する「事前調査チーム」が発生段階から事前調査を実施することで、濃厚接触者を早期に特定し、いち早く感染拡大の防止を図ります。

【対象施設】

- 医療機関（歯科・薬局を含む）
- 福祉施設（高齢者施設、障害者施設など）
- 児童福祉施設（保育所、放課後児童クラブ、認可外保育施設など）
- 小中学校（休校期間中は、預かり実施など、児童生徒が登校している学校に限る）

② PCR検査の対象の拡大

学校、保育所、福祉施設で陽性患者が発生した際に、無症状の濃厚接触者もPCR検査センターでの検査を積極的に実施します。

③ 「KRICT」(NPO法人北九州地域感染制御チーム)との連携

感染症の専門家集団「KRICT」が、市の調査やクラスターのデータ分析等を支援します。

【KRICT概要（令和2年3月末現在）】

- 設立：平成16年1月
- 理事長：松本 哲朗（北九州市保健福祉局医務監）
- 会員数：施設会員122施設、個人会員89人、賛助会員7社

COVID-19流行に伴うKRICT活動

1. 市内における医療体制の構築：協力病院での役割分担と協力体制
2. 感染患者発生施設（病院・介護施設）への緊急支援：市保健所等との共同作業
3. 感染者療養施設（ホテル）への技術協力
4. PCRセンターの立ち上げと運用への協力
5. 病院及び介護・障害者施設へのクラスター対策の支援（講習・ラウンド）
6. 飲食店等への感染対策指導

KRICTによる緊急対応・講習会・ラウンド

クラスター発生時の緊急対応（保健所と共同）
すべての医療関連施設へ緊急出動；3月より、延べ13件

介護・障害者施設向けの講習会
7月～9月 延べ11回

介護障害者施設のラウンド
9月 13件
10月10件、11月21件予定

北九州市におけるCOVID-19対策；特にインフルエンザ流行期に備えて

1 市内医療体制の整備

方針	具体的な取組み
【大方針】 福岡県が病床確保、病床調整を実施	・国の方針により、福岡県において病床確保計画を策定
病床確保、病床調整を円滑に行うための環境整備を推進	・後方支援病院の確保(中小病院の活用) ・患者搬送
病院経営の支援	・医療機関の支援に関する補正予算 ・県、国への要望

2 検査体制の強化

方針	具体的な取組み
PCR検査センターのあり方検討	・協力病院等でのPCR検査機器の導入促進
抗原検査及び唾液によるPCR検査の拡大	・行政検査の委託契約先の拡大 ・行政検査委託契約の進捗に応じて、PCR検査センターの拡充を検討
アウトリーチ検体採取チームの確保	・クラスター発生時の検体採取体制の整備
保環研の検査時間の見直し	・検体回収業務のアウトソーシング
検体回収の効率化の検討	

北九州市におけるCOVID-19対策；特にインフルエンザ流行期に備えて

3 保健所機能の強化

方針	具体的な取組み
既存組織と切り離した臨時組織の設置	・組織体制の再構築 ・検体回収業務のアウトソーシング
業務の外部委託化の推進	・調査データの共有化及び集計と入力作業のアウトソーシング
感染拡大時の増員体制の明確化	・公表情報は15時から16時頃として報道対応を行う
効率的な報道発表のルールづくり	・組織体制の再構築により、国、県、庁内各部門のカウンターパートを統一化
本庁、保健所の窓口の明確化	

4 医療資材の調達、保管、提供

方針	具体的な取組み
医療資材の調達、保管、提供の円滑化	・医療機関への資材提供のスキーム作成 ・本市独自の医療資材の備蓄・供給体制の稼働

5 高齢者施設等における感染予防の強化

方針	具体的な取組み
業務従事者向け研修の実施	・K R I C T等の感染症専門家による感染防止対策に関する実地研修の開催
本市発生事例の情報提供	・感染者発生施設従事者による体験等に関するオンラインセミナーの実施
平常時の感染防御対策への助言・指導	

感染症は、正しく恐れ、正しく対応！

対策は、その意味を考える